

貸借対照表

(2020年 3月 31日現在)

(単位 : 千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	179,264	流動負債	212,670
現金及び預金	66,010	未払金	11,513
売掛金	29,200	未払費用	300
未収入金	92,228	関係会社短期借入金	192,641
前払費用	3,718	未払法人税等	3,440
立替金	1,074	預り金	1,775
その他流動資産	11	賞与引当金	3,000
貸倒引当金	△ 12,979		
固定資産	229,583	負債合計	212,670
有形固定資産	542		
工具器具備品	2,099		
減価償却累計額	△ 1,557		
無形固定資産	766		
ソフトウェア	766		
投資その他の資産	228,274		
出資金	214,100		
差入保証金及び敷金	11,757		
長期前払費用	2,416		
資産合計	408,847		
		純資産の部	
		株主資本	196,177
		資本金	350,000
		資本準備金	250,000
		利益剰余金	△ 403,822
		その他利益剰余金	△ 403,822
		繰越利益剰余金	△ 403,822
		純資産合計	196,177
		負債及び純資産合計	408,847

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産
工具器具備品
定率法を採用しております。
- ② 無形固定資産
定額法を採用しております。
- ③ 長期前払費用
均等償却によっております。

(2) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金
売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金
従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

(3) その他計算書類作成のための基本となる重要事項

- ① 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度末日における発行済株式数
普通株式 1,200 株

3 一株当たり情報に関する注記

一株当たり純資産額	163,480円94銭
一株当たり当期純損失	2,821,924円51銭

4 重要な後発事象に関する注記

当社の親会社であるグローム・ホールディングス株式会社(以下「売主」という。)は、当社の発行済株式の譲渡に関し、2020年4月30日付で株式会社ビーロット(以下「買主」という。)と株式譲渡契約を締結いたしました。

(1) 契約の概要

本契約に基づき、売主は、クロージング日(2020年5月末日又は売主及び買主が別途合意する日)に売主が保有する当社の全株式を買主に譲渡いたします。

(2) 本件株式譲渡実行に伴う当社への影響

本契約において、当社が売主に対して有する連結法人税個別帰属額に係る請求権と、売主が当社に対して有する貸付債権とを対等額にて相殺し、その結果売主に債権が残存した場合は、売主は当該債権を放棄することとなっております。当該債権放棄に伴い、当社の翌事業年度において約122百万円の債務免除益が発生する見込みです。

社名 ビーロット・アセットマネジメント株式会社
 ※同社は2020年7月1日の吸収合併における消滅会社であります。

貸借対照表

(2019年12月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	109,977	流 動 負 債	29,900
現 金 及 び 預 金	89,697	短 期 借 入 金	-
売 掛 金	12,060	未 払 費 用	3,641
そ の 他	133	未 払 法 人 税 等	19,022
固 定 資 産	8,085	そ の 他	7,236
投 資 そ の 他 の 資 産	8,085	固 定 負 債	-
出 資 金	530	負 債 合 計	29,900
差 入 保 証 金	5,600	(純資産の部)	
繰 延 税 金 資 産	1,635	株 主 資 本	80,076
長 期 前 払 費 用	320	資 本 金	20,000
		利 益 剰 余 金	60,076
		繰 越 利 益 剰 余 金	60,076
		純 資 産 合 計	80,076
資 産 合 計	109,977	負 債 ・ 純 資 産 合 計	109,977

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
2. 固定資産の減価償却の方法
該当事項はありません。
3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 1株当たりの情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額 200,190 円 83 銭
2. 1株当たり当期純利益金額 109,637 円 62 銭

社名 ビーロット・アセットマネジメント株式会社
 ※同社は2020年7月1日の吸収合併における消滅会社であります。

貸借対照表

(2018年12月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	54,928	流 動 負 債	25,577
現 金 及 び 預 金	37,634	短 期 借 入 金	20,000
売 掛 金	12,392	未 払 費 用	3,154
そ の 他	4,901	未 払 法 人 税 等	612
固 定 資 産	6,870	そ の 他	1,811
投 資 そ の 他 の 資 産	6,870	固 定 負 債	-
出 資 金	530	負 債 合 計	25,577
差 入 保 証 金	5,600	(純資産の部)	
長 期 前 払 費 用	740	株 主 資 本	36,221
		資 本 金	20,000
		利 益 剰 余 金	16,221
		繰 越 利 益 剰 余 金	16,221
		純 資 産 合 計	36,221
資 産 合 計	61,798	負 債 ・ 純 資 産 合 計	61,798

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
2. 固定資産の減価償却の方法
該当事項はありません。
3. 引当金の計上基準
貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
なお、貸倒実績及び貸倒懸念債権等特定の債権がないため、当事業年度において貸倒引当金は計上しておりません。
4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 1株当たりの情報に関する注記

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 90,553 円 21 銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益金額 | 33,236 円 63 銭 |

社名 ビーロット・アセットマネジメント株式会社
 ※同社は2020年7月1日の吸収合併における消滅会社であります。

貸借対照表

(2017年12月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	47,442	流 動 負 債	30,095
現 金 及 び 預 金	36,415	短 期 借 入 金	20,000
売 掛 金	10,994	未 払 費 用	4,117
そ の 他	32	未 払 法 人 税 等	1,960
固 定 資 産	5,580	そ の 他	4,017
投 資 そ の 他 の 資 産	5,580	固 定 負 債	-
出 資 金	500	負 債 合 計	30,095
差 入 保 証 金	5,000	(純資産の部)	
長 期 前 払 費 用	80	株 主 資 本	22,926
		資 本 金	20,000
		利 益 剰 余 金	2,926
		繰 越 利 益 剰 余 金	2,926
		純 資 産 合 計	22,926
資 産 合 計	53,022	負 債 ・ 純 資 産 合 計	53,022

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 資産の評価基準及び評価方法 | 該当事項はありません。 |
| 2. 固定資産の減価償却の方法 | 該当事項はありません。 |
| 3. 引当金の計上基準 | 貸倒引当金 |
| | 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 |
| | なお、貸倒実績及び貸倒懸念債権等特定の債権がないため、当事業年度において貸倒引当金は計上しておりません。 |
| 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項 | 消費税等の会計処理 |
| | 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。 |

2. 1株当たりの情報に関する注記

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 57,316 円 58 銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益金額 | 28,280 円 60 銭 |

社名 ビーロット・アセットマネジメント株式会社
 ※同社は2020年7月1日の吸収合併における消滅会社であります。

貸借対照表

(2016年12月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	11,571	流 動 負 債	5,077
現 金 及 び 預 金	9,916	未 払 費 用	4,522
売 掛 金	1,603	未 払 法 人 税 等	90
そ の 他	52	そ の 他	465
固 定 資 産	5,120	固 定 負 債	-
投 資 そ の 他 の 資 産	5,120	負 債 合 計	5,077
差 入 保 証 金	5,000	(純資産の部)	
長 期 前 払 費 用	120	株 主 資 本	11,614
		資 本 金	20,000
		利 益 剰 余 金	△8,385
		繰 越 利 益 剰 余 金	△8,385
		純 資 産 合 計	11,614
資 産 合 計	16,691	負 債 ・ 純 資 産 合 計	16,691

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
2. 固定資産の減価償却の方法
該当事項はありません。
3. 引当金の計上基準
貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
なお、貸倒実績及び貸倒懸念債権等特定の債権がないため、当事業年度において貸倒引当金は計上しておりません。
4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 1株当たりの情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額 29,035 円 97 銭
2. 1株当たり当期純利益金額 △66,348 円 83 銭

社名 ビーロット・アセットマネジメント株式会社
 ※同社は2020年7月1日の吸収合併における消滅会社であります。

貸借対照表

(2015年12月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	49,305	流 動 負 債	16,311
現 金 及 び 預 金	48,351	未 払 金	134
前 払 費 用	37	未 払 費 用	1,030
繰 延 税 金 資 産	917	未 払 法 人 税 等	11,113
固 定 資 産	5,160	預 り 金	74
投 資 そ の 他 の 資 産	5,160	そ の 他	3,960
長 期 前 払 費 用	160	固 定 負 債	-
差 入 保 証 金	5,000	負 債 合 計	16,311
		(純資産の部)	
		株 主 資 本	38,153
		資 本 金	20,000
		利 益 剰 余 金	18,153
		繰 越 利 益 剰 余 金	18,153
		純 資 産 合 計	38,153
資 産 合 計	54,465	負 債 ・ 純 資 産 合 計	54,465

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 資産の評価基準及び評価方法 | 該当事項はありません。 |
| 2. 固定資産の減価償却の方法 | 該当事項はありません。 |
| 3. 引当金の計上基準 | 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
なお、貸倒実績及び貸倒懸念債権等特定の債権がないため、当事業年度において貸倒引当金は計上しておりません。 |
| 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項 | 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。 |

2. 1株当たりの情報に関する注記

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 95,384 円 81 銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益金額 | 52,588 円 75 銭 |